

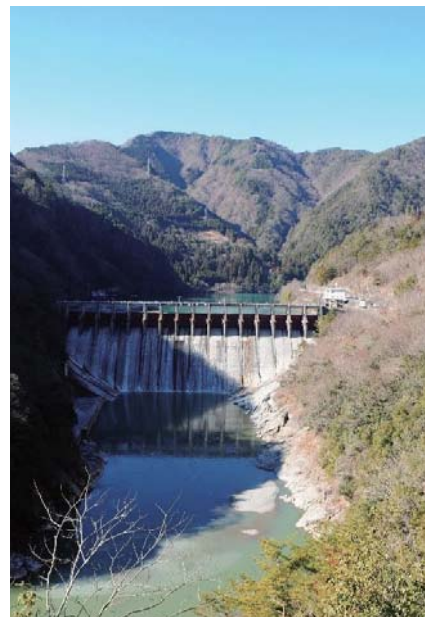
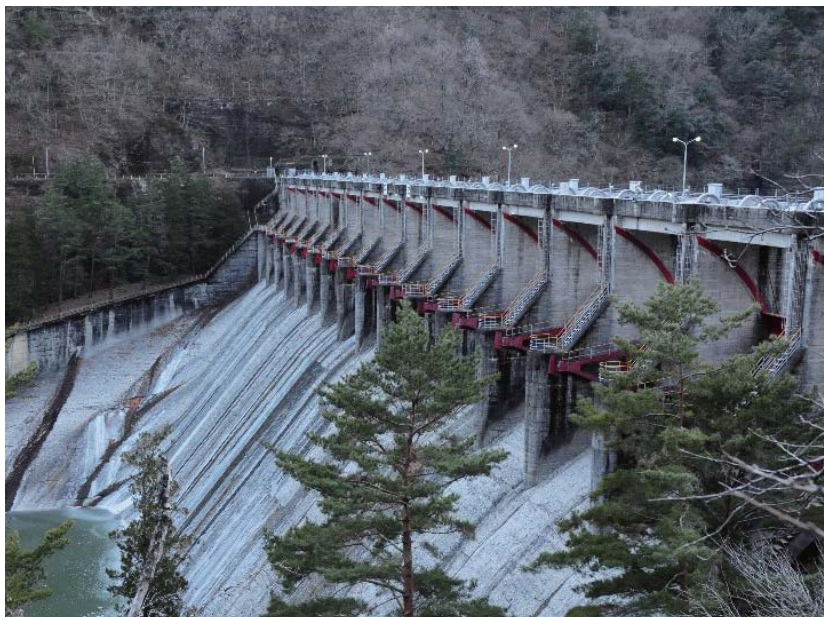
ひらおか 平岡ダム

太平洋戦争中の負の歴史を語るダム

1951(昭和26)年に完成した発電用ダム。

戦前に建設・計画された天竜川流域のダムの中では、最大の高さ(62.5m)であり、天竜川が作り上げてきた渓谷がそのままダム湖となっている。

太平洋戦争の時代に中国・朝鮮半島の人々や敵対する米国・英国の連合国軍の捕虜を強制的に使役して建設した歴史を持つ。



飯田富山佐久間線から見た
ダムの正面風景

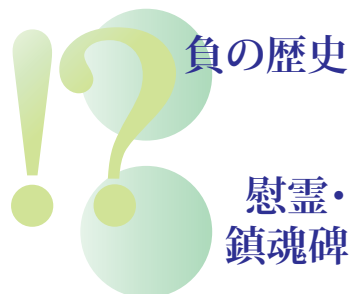
information

□ アクセス

飯田山本ICから30km
車→1時間

□ 所在地

天龍村平岡



負の歴史

ダム建設は、太平洋戦争直前の1940(昭和15)年に着工されたが、戦時下の労働力不足を補うため、朝鮮・中国の人々や、米国・英国などの捕虜を強制労働させる事態となり、多くの犠牲者を出した。

慰霊・ 鎮魂碑

ダムの近くには中国人犠牲者に対する慰霊碑が、また、天竜中学校のグラウンド横には、米英の犠牲者を弔う鎮魂碑がある。

平岡ダムは、多くの犠牲者とともに負の歴史を背負うこととなった。



(国土地理院の数値地図50000(地図画像)を使用)